

令和4年(2022年)10月26日

北海道中小企業団体中央会
会長 尾池 一 仁 様

北海道教育委員会教育長 倉本博史



高校生就業体験活動推進事業について（依頼）

貴会におかれましては、日頃から本道の高等学校等におけるキャリア教育の充実に御理解と御協力をいただき、感謝申し上げます。

道教委では、高校生が在学中に自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択できる力を育成するため、平成14年度から「高校生就業体験活動推進事業（旧：高校生インターンシップ推進事業）」を実施しております。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による影響もありましたが、全日制道立高等学校では、前年を約3割上回る146校において、9,573名の生徒がインターンシップを行っています。

各高等学校においては、主体的に地域を支える人材の育成や早期離職者の減少に向け、社会との接続を重視し、望ましい職業観・勤労観を育成するため、社会や職業にかかわる様々な事業所におけるインターンシップのほか、キャリアガイダンスの充実や、将来、社会にどのように参画していくのかを考えさせる学習などの体験的な学習の充実を図っているところです。

インターンシップについては、これまで主に高等学校卒業後に就職を希望する生徒が多い普通科や専門学科を中心に行われてきましたが、現在は、大学卒業が前提となる資格を要する職業等も対象とするなど、それぞれの学科の特色や生徒の実態を踏まえた取組を推進しています。

つきましては、いまだ新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組の中ではございますが、今後におきましても、高校生が自己の能力・適性等についての理解を深めるため、職業や進路に関わる体験的な学習の機会が得られますよう、特段の御配慮をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。

(学校教育局高校教育課キャリア教育指導係)